

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
デイリー C.K. ホァン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎



第 2699 回例会

平成 27 年 1 月 15 日 天候 雨

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 ラフマニノフ ピアノ協奏曲第 2 番

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

1 月 19 日 戸塚敦雄 君
1 月 21 日 松下陸朗 君

結婚記念日

なし

《会長挨拶要旨》 初心



新しい年を迎えると私たちは、新年のお祝いをします。

年の初めを、新しい気持ちで迎えます。1 年の区切りとして、新年を迎えます。

つまり、新しい年を迎えて区切りとし初心にかえるということでしょうか。

初心ということについて池波正太郎が随筆の中で書いています。

新国劇の島田正吾は、いつも舞台のため公演の準備に際して、本読み、立稽古、舞台稽古と進むにつれて 30 年近くの大スターが初めての舞台に立つ初心の熱情をもって臨んでいた。その稽古の態度は 20 代の青年みみたいな頼りなさ、たどたどしささえ感じられたといえます。

しかし、そうした初々しさが舞台の成功に繋がったと書いています。その一つ一つの舞台に対していつも初舞台の気持ちで臨んでいるからなのでしょう。

この話を読んで、私たちは、やはり仕事に対してスレてはならないのだと改めて思いました。

新しい年を迎えて、仕事に向かう時、ときどきは 20 代の頃の頼りなくても、一生懸命だったあの頃の気持ちを持って、取り組みたいと思います。「初心」ということは、とりも直さず「新鮮」だということだと思いました。

「恋は、いつでも初舞台」というのは、梅沢富美男の「夢芝居」の歌の文句です。恋の初めが、いつでも初舞台であり得るのなら、仕事もいつも新鮮である工夫をしたいものです。

《年男・年女スピーチ》

上田直弘 君

私は昭和 30 年の 1 月 1 日生まれで、今年還暦を迎えました。我が社には定年前に定年前旅行という制度があり、家内と二人で台湾へ行ってきました。ここ 5 年ほど中国には何度か足を運んでおり、上海、北京、香港、マカオなどを巡りました。このツアーを通して台湾の方々には中国本土から来る人方々の行動についてエチケットがなっていないなど、相当強い思いがあることがわかりました。現総統は親中派で支持率は 7% ほどしかなく任期であるあと 2 年辛抱しているとのことです。台湾の気温は 15 度くらいで過ごしやすい気候ですが、現在ダウンジャケットが流行しており、暑くてもファッションとして我慢して着ているようです。また中国本土では押し売りが一般的ですが、台湾は穏やかで安心して買い物ことができました。他にも故宮博物館に訪問したり、名物の白菜と豚の料理や、小龍包の名門店なども食べ歩きました。家内と旅行をし始めたのが結婚 25 周年でソウルの旅でした。飲み友達からは再び成田で離婚するんじゃないかと心配されましたがツアーは私たち夫婦二人だけだったので、却って会話が復活し、その後の二人の旅行にも繋がったと思っています。年男のスピーチにはなっていませんが、自己紹介及び家族のことを話させていただきました。

川崎依子 君

私が生まれたのは戦後 10 年しか経っていない昭和 30 年です。生まれ育ったのは安東地区で、安倍川の東

駿府公園の北で、当時は田んぼや畑、草の生い茂る空き地だらけでした。勿論今のような家電製品などはなく、洗濯機は手動、冷蔵庫の氷は氷屋さんが運んでいました。テレビがようやく普及し始め、よく画面の前で踊って皆の注意を引こうとしたものです。夏は戸を開け放して蚊帳を吊って、蚊取り線香を焚きながら寝ました。冬は石油ストーブや火鉢で暖を取りました。夕方になるとラッパを吹きながら豆腐屋さんがリヤカーを引いてやってきたり、ロバのパン屋さんやハザシの行商の方もよく行き来していました。近くの公園では毎週紙芝居がやってきて、駄菓子も買いました。わらび餅屋さん、焼き芋屋さん、夜にはラーメン屋さんの屋台も来ていました。当時は上級生が下級生の面倒をよく見たもので、かくれんぼや缶けりなどをしてよく遊んでいました。空き地で隠れ家を作ったり、蓮華やシロツメクサで冠を編んだりしました。冬は凧揚げ夏は蝉取り、私が夢中になったのは青虫やカタツムリを部屋で飼う事でした。体がぐたくたになるまで遊び家に帰って夕食を食べ、お風呂に入ってから吸い込まれるように眠る。当に至福の時代でした。今どきの家族は皆で食事をしていても全員がスマホを見て話もしない光景を目にして驚きます。子供たちが集まってもお互い話もせずゲームに夢中になっています。物は豊かになりましたが、心の貧しい時代になってしまったと感じます。自然に親しみ、近所の人たちや友人たちと関わりながら育った古き良き時代を過ごすことができ本当に幸せだったと改めて思いました。

山下勝央 君

私は生まれた昭和 42 年についてお話をさせていただきます。高度経済成長真っ盛りで、都心のビルは高くなり、主要道路は車で埋まっていました。ミニスカートが大流行し、男性化粧品も誕生しました。主な出来事は、吉田首相の国葬、美濃部都知事の当選。海外ではヨーロッパ共同体(EC)の発足、東南アジア連合(ASEAN)も結成されました。プロボラーの中山律子さんが大ブレイクし、ラジオのオールナイトニッポンも放送開始となりました。「小百合スト」「ポイン」などの流行語も生まれました。CMでは「大きいことはいいことだ」、音楽ではザ・タイガース、スパイダース、テンプターズなどのグループサウンズがブームとなりました。ヒットした曲は「ブルーシャトー」「夜霧よ今夜もありがとう」でした。当時の大卒初任給は 25,584 円。物価も今では考えられない安さでした。この年に生まれた有名人は、プロ野球の清原和博選手、サッカーの三浦知良選手、テニスの松岡修造などの大活躍したスポーツ選手が多く生まれた年でした。芸能人では織田裕二さん、坂本冬美さんなどもこの年の生まれです。あとは大トリの相原さんに譲ります。

相原雄治 君

歳男にあたり 8 人目のスピーチをさせていただきます。干支の話は出尽くしたと思いますので、私のルーツについてお話しします。私の出身は、神奈川県小平市で生まれてから銀行に就職し通勤族になるまでそこで暮らしていました。静岡には、相原と言う名字

は少ないのですが、私の実家周辺には非常に多い名字です。例えば、小中学校の時は 1 クラスに 5~6 名くらい相原と言う名字の生徒がいました。少年野球では 1 番センター相原、2 番セカンド相原、3 番ファースト相原と言う時もありました。この地域は、相模の国といわれたことはご承知の方も多いと思います。この地域では、相模の国の野原に生息していた一族+徳川家に仕えた一族と言われていています。徳川家ということ聞こえはいいのですが、詳しく聞いてみると徳川家に仕えた足軽一族で相模の国の野原で大活躍したようです。ふと考えると、私はいつの間にか縁もゆかりもない静岡に来て、銀行を退職し独立・企業し住み着いています。さらには、静岡に来てから趣味のひとつにランニングが加わり、今では駿府城公園の周りを走り回っています。私の先祖と家康侯の縁が、まだ私につながっているとは思えませんが、今年も 1 年フットワークよくこの駿河の地を走り回って行こうと思いますのでよろしくお願い致します。

《スマイル報告》

戸塚敦雄 君 誕生日のお祝いをありがとうございました。61 歳になってしまいました。

松下陸朗 君 本日は誕生日のお祝いを有難うございました。到々今月の誕生日で大台に乗りました。よくぞここまで生きてきたと思う反面、充実した人生だったのかと思うと少々忸怩たる思いです。

川崎依子 君 本日は年女スピーチをさせていただきました。幼いころの記憶をたどり、楽しかったことをたくさん思い出す良い機会になりました。感謝してスマイルします。

富井一矢 君 先週末、インフルエンザ(A)になってしまいました。先年予防接種を打ったのですがすっかり油断してしまいました。スタッフに迷惑をかけてしまったので反省してスマイル…。ビターなスマイル(苦笑)です!!

川口尚宜 君 インフルエンザが大流行しています。ノロウイルスもそうですが、90%は人の手を介して広がります。物を口に入れる前の手洗いで 90%防げます。皆さま物を口に入れる前は必ず手洗いをしましょう。スマイルします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
1/15	54(53)	45	8	-	-	-
1/8	54(53)	41	12	-	-	-
12/18	54(52)	37	15	11	4	92.31%